

生徒指導論 (進路指導を含む)		単位数	履修方法	配当年次	
		2	R	2年以上	
科目コード	EC3707	担当教員	菅野 紘		



■科目の内容

教育臨床的行動問題として、校内暴力、家庭内暴力、いじめ問題、青少年の無気力化と自殺、女子非行の増加、性非行、不登校の増加、引きこもり、薬物乱用、刃物不法所持とつぎつぎと問題行動が登場し、社会問題となっています。

いま学校の中で、最も困難を極めているのが生徒指導だといわれています。そうした生徒指導に関する実態を明らかにするとともに、現実子どもたちの中で起こっている問題行動やその背景にどんな事情があるのかを検討します。

そうした検討をふまえて、生徒指導の今後のあり方と進路指導のあり方を探っていきたいと思います。

■到達目標

- 1) 生徒指導の意義と目的について説明できる。
- 2) 児童・生徒理解について説明できる。
- 3) 教育相談の理論について説明できる。
- 4) 生徒指導上の問題行動を具体的に説明できる。
- 5) 進路指導の目的と内容について説明できる。
- 6) 生徒指導上の関連重要語句を具体的に解説できる。

■教科書

江川玫成編『生徒指導の理論と方法 三訂版』学芸図書、2013年

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	I 生徒指導とは何か①生徒指導の目的	生徒指導の目的と必要性を理解する。 キーワード：人間は、人間の中でしか人間になれない	生徒指導の3つの目的と必要性を学ぶ。
2	②生徒指導の領域と課題	生徒指導の領域と課題を理解する。 キーワード：発達課題をふまえての指導	生徒指導の6つの領域を学ぶ。
3	II 生徒指導と教育課程との関連：教科、道徳、特別活動との関連	生徒指導と教科、道徳、特別活動との関連を理解する。 キーワード：生徒指導は、統合指導である	生徒指導と教科、道徳、特別活動との関連を学ぶ。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
4	III 生徒指導の組織と計画：生徒指導の組織体制	生徒指導の組織体制を理解する。 キーワード：生徒指導は、すべての教師が	生徒指導の組織体制を学ぶ。 関係諸機関との連携の必要性について学ぶ。
5	IV 生徒理解とは ①生徒理解の意味と機能	生徒理解の必要性と機能を理解する。 キーワード：生徒指導は、すべての生徒が対象	生徒理解の必要性を4つの視点から学ぶ。
6	②生徒理解の領域と内容	生徒理解の領域と内容を理解する。 キーワード：担任教師が生徒指導の第一人者	生徒理解のための方法を学ぶ。
7	V 生徒指導の方法Ⅰ—集団指導① 集団指導の意味と意義	集団指導の意味と意義を理解する。 キーワード：学校生活は、集団生活である	集団指導の4つの機能と形態を学ぶ。
8	②集団活動の指導	望ましい学級集団とはを理解する。 キーワード：望ましい人間関係を求めて	望ましい学級集団作りを具体的に学ぶ。
9	VI 生徒指導の方法Ⅱ—個別指導① 教育相談の意義と目的	教育相談の意義と目的を理解する。 キーワード：こころの扉を開くには	教育相談の意義と目的を学ぶ。
10	②教育相談の理論	教育相談の理論を理解する。 キーワード：人間を理解しよう	心理療法のしくみ、カウンセリングの3つの視点を学ぶ。
11	③教育相談の進め方	教育相談の進め方を理解する。 キーワード：生徒のすべてを受容する	教育相談の具体的な進め方を学ぶ。
12	VII 問題行動とは ①問題行動の種類	問題行動の種類を理解する。 キーワード：問題行動の低年齢化、一般化	反社会的問題行動、非社会的問題行動を正しく学ぶ。
13	②問題行動の原因	問題行動の原因を理解する。 キーワード：適応と不適応	問題行動の心理的・社会的関係を学ぶ。
14	③問題行動の処遇	問題行動の処遇を理解する。 キーワード：心を育てられるものは、心にある	問題行動の治療と予防対策を学ぶ。
15	VIII 進路指導とは：進路指導の目的と内容	進路指導の目的と内容を理解する。 キーワード：進路指導は、生き方の指導	進路指導の目的と6つの内容を学ぶ。

■レポート課題

1 単位め	児童生徒の人格形成上の発達課題をふまえ、生徒指導（意義や目的）との関連性を論述せよ。
-------	--

2 単位め

【説明型レポート】

下記について各400字以上500字以内で具体的に説明せよ。

- ① 生徒指導の内容と指導原理について
- ② 生徒理解について
- ③ 学校教育相談について
- ④ 反社会的行動と非社会的行動について
- ⑤ 進路指導の目的について

■アドバイス

1単位め アドバイス

人間が成長発達していくためには、それぞれの年代において身につけなければならない課題があります。これは、人間として望ましい「人格」を形成するために生まれたときから成人になるまで習得しなければならない成長の道しるべのことで「発達課題」といいます。

子どもは、それぞれの発達課題に挑戦しながら、その子らしい「個性」や「能力」を伸ばし成長していきます。

生徒指導を行うにあたっては、子どもがどのような発達過程を一般にたどるのかということをも十分認識しておく必要があります。それぞれの発達課題には、普通の子どもが普通の環境下にあれば達成されるはずの発達課題があるが、環境がひどく偏っている場合には、その発達課題が達成されず、それがそのときの不適応行動として現れたり、かなり後の問題行動の遠因となることもあります。

子どもの「今」だけを注視すると、しばしば現象に振り回され、対策に追われることとなります。

以上のことをふまえて、人格形成上の発達課題と生徒指導との関連性について具体的に考察してください。

2単位め アドバイス

教科書や参考図書などの文献を参照しながら、自身で整理し、まとめとして「自分のことば」で「自分の考え」を与えられた字数内で具体的に説明してください。

■科目修了試験 評価基準

- 1) 題意を把握し、内容を理解して論述しているか。
- 2) 論理的に考察しているか。
- 3) 文字は、正確でていねいに記述しているか。
- 4) 関連重要語句を具体的に解説しているか。

■参考図書

坂本昇一著『生徒指導が機能する教科・体験・総合的学習』文教書院、1999年

松田文子・高橋超編『生き方が育つ生徒指導と進路指導』北大路書房、2008年

原田信之編『心をささえる生徒指導』ミネルヴァ書房、2009年

文部科学省『生徒指導の手引き 改訂版』

文部科学省『学習指導要領 平成20年3月』（中学校・高等学校）

文部科学省『中学校指導書 教育課程一般編』